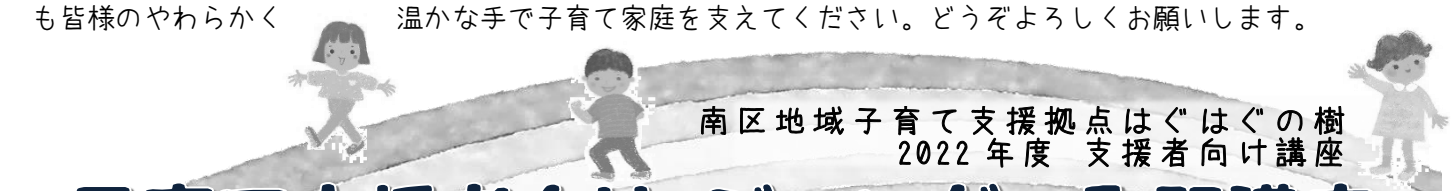
南区の子育て支援関係者向け情報誌　第 40 号

にこで　～和　手～

2022 年夏号　南区地域子育て支援拠点はぐはぐの樹　発行

「にこで　～和手～」は創刊から 10 年、第 40 号を迎えました。少しでも支援活動に役立つ内容をと、毎号悩みながら作ってきました。タイトルの「にこで(和手)」は古語で「やわらかい手」という意味です。これからも皆様のやわらかく　　温かな手で子育て家庭を支えてください。どうぞよろしくお願いします。



南区地域子育て支援拠点はぐはぐの樹
2022 年度　支援者向け講座

子育て支援者向け　ジェンダー入門講座

～性別にとらわれず子どもの個性と向き合う～

何気なく発しているお子さんや保護者への言葉が、違和感をもって受け止められていたり、お子さんの可能性を狭めていたりするとしたら・・・？

この講座はジェンダーについて正しく理解すること、自分にも社会にもある無意識の思い込みや偏見に気づくことを目的としています。

性別にとらわれない多様な生き方、その人らしさを応援できる支援について考えていきましょう。

≪講師≫　エコネットワークス　木村麻紀さん
≪ゲストスピーカー≫
エコネットワークス代表　野澤 健さん

日　時：２０２２年９月８日（木）
14：00～16：00（入室開始 13：45）
対　象：地域で子育て支援活動をされている方
テーマに関心がある方
定　員：３０名（先着順）
形　態：オンライン（Zoom）
申　込：７月２０日（水）10：00～
はぐはぐの樹ホームページから Google フォームにてお申込みください。
参加費：無料（通信料は参加者負担）

第2期横浜市子どもの貧困対策に関する計画（令和4～8年度）策定

取組みを進めていきましょう！

令和 4 年 3 月に策定された第２期計画は、基本的には第 1 期計画(平成 28 年度～令和 3 年度)を踏襲しつつ、子どもの生活・学習支援の実施か所数等の拡充、ひとり親世帯に対する自立支援や減免制度の充実、そして新たに、ヤングケアラーの支援に向けた実態把握調査等が盛り込まれました。

にこで 36 号(2021 年夏号)で計画素案に対する市民意見募集(パブリックコメント)についてお知らせしました。報告書によると 196 件の提出があり、そのうち 25 件の意見について案の修正がなされたということです。実際に地域で支援をされている方々や事業者による現場からの声が、一部ではありますが反映された形です。

南区でも「子どもの居場所づくりネットワーク」等、地域・区役所・関係機関が協力して支援を進めています。第２期計画が実効性のあるものとして機能していくよう、それぞれの立場で出来ることから取り組んでいきましょう。

★計画の趣旨★

子どもの生まれ育った環境による生活や進学機会の格差などにより、将来の選択肢が狭まり、貧困が連鎖することを防ぐため、実効性の高い施策を展開し、支援が確実に届く仕組みを作ることを目的としています。

★計画の対象★

生まれる前から大学等を卒業した後の自立に向けた支援を含め概ね20代前半までの、現に困窮状態にある、又は、保護者の疾病･障害やひとり親家庭であることなどにより、困難を抱えやすい状況にある子ども･若者とその家庭が対象です。

計画の全体版･概要版･パブリックコメントへの対応状況等については横浜市のホームページに掲載されています。

横浜市　子どもの貧困　検索

子育てパートナーの
南区の子育て支援
活動紹介

子育てサロン
ぱんだ

６月９日(木)、太田東部地区の子育てサロン「ぱんだ」を訪問しました。

「ぱんだ」は南区の子育てサロンには珍しくインスタグラムで情報発信を行っています。最初の緊急事態宣言が発令された時、会場の町内会館が使用できなくなり、やむなくサロンをお休みすることになったのですが、そのことを皆さんにお知らせする方法がなかったので、最初の頃は代表の金澤さんともう一人のスタッフさんが入り口に待機していたそうです。その後、金澤さんが娘さんに「ぱんだ」のインスタグラムを始めることを勧められ、直ぐにスタッフさんたちに相談したところ、若いスタッフさんが中心になって始めることができたとのことでした。

「ぱんだ」のインスタグラムは、小学生のお子さんがいるスタッフさんが地域の子ども会にも紹介して共有しているそうです。はぐはぐの樹でもフォローさせていただいていますが、サロンの様子だけでなく、スタッフさんの子育てのご様子や身近なお出かけ情報なども発信されていて、いつも楽しく拝見しています。

訪問した日にいらした方々にスタッフになったきっかけを伺うと、元々「ぱんだ」の利用者で、子どもを抱っこしてもらえることが良かったし、地域で会って子どもに声をかけてくれるので嬉しかったという方、もう一人の方は介護が終わったタイミングでスタッフを募集していると友人から聞いたからとお話しくださいました。代表の金澤さんを中心にチームワーク良く活動されている様子が印象的でした。

これからも、地域にある親子の居場所を妊娠期からも知ってもらえるように、はぐはぐの樹でも積極的にＰＲしていきたいと思いました。

@panda_kosodate
写真は「ぱんだ」インスタグラムより引用

【子育てサロンぱんだ】

日　時：毎月第２木曜日
場　所：西中・前里１・２、白金１町内会館
対　象：未就園児と保護者
参加費：１組 100 円（保険・会場費として）

繰り返し呼びかけよう！子どもの事故防止
消費者庁が作成したハンドブックには英語版　中国語版も！

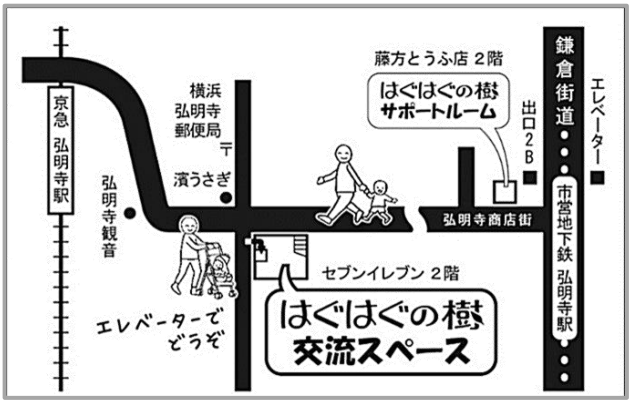
消費者庁作成のハンドブックはこちらから！

子どもの事故がどのような場所・場面で起こりやすいかを知り、子どもの周囲の状況を見直すことで「不慮の事故」の発生リスクを減らすことが出来ます。優れたパンフレットや資料が作られていて、web版もありますので、皆さんの支援場所でも、ぜひ利用者さんにご紹介ください！

インテリアや芳香剤などでよく見かける「吸水樹脂ボール」。カラフルで子どもの目を引き、グミやキャンディーのようにも見えることから、子どもの誤飲への注意が呼びかけられています。

誤飲をすると、腸の中で大きく膨らんで腸閉塞を起こす危険性があるだけでなく、レントゲンや CT 等に写りにくい性質があり、令和３年度中に消費者庁に報告されている事故事例では、いずれも開腹手術に至っています。

吸水樹脂ボールが小さい子どもの手が届くところにないかチェックしましょう！



「にこで～和手～」第 40 号
【発行】南区地域子育て支援拠点はぐはぐの樹(サポートルーム)
〒232-0056　南区通町 4-115　アイルイン弘明寺２階
TEL:720-3655　FAX:715-3815
MAIL：info@haghagnoki.jp